

2011年11月7日

長谷川 秀彦

## 統計ブックリスト 2011

### 教科書

☆小寺平治. ゼロから学ぶ統計解析、講談社、2002 (ISBN4-06-154656-2, 2,500 円)

◎大村平. 今日から使える統計解析、講談社、2005 (ISBN978-4061556560, 2,300 円)

簡単かつ、非常によく書けているテキストで、よくわかったつもりになれる。しかし、あまりにも単純化された例ばかりなので、本当に使えるようになるには演習が必要である。

◎小島 寛之. 完全独習 統計学入門、ダイヤモンド社、2006 (ISBN 978-4478820094, 1,890 円)

確率に深入りせず、標準偏差を重視するという方針。簡潔でていねいに書かれたテキストで、章ごとに簡単な例題が解答付きで載っていて、わかった気持ちに慣れるのも良い点である。実際は、これだけでは不十分で、単純化されていない問題演習が必要だろう。「独習」はウソではない。他の本と少し語法が異なるので注意がいる。

松原 望. はじめよう！統計学超入門 (知識ゼロでもわかる統計学)、技術評論社、2011 (ISBN 978-4774145204, 2,079 円)

演習書？

西岡 康夫. 単位が取れる統計ノート、講談社、2004 (ISBN 978-4061544574, 2,540 円)

演習書？

松原望. わかりやすい統計学、丸善、1996 (ISBN4-621-04269-6, 1,800 円)

ディビッド・ムーア、ジョージ・マッケイブ (麻生一枝・南條郁子訳). 実データで学ぶ、使うための統計入門、日本評論社、2008 (ISBN978-4-535-78467-3, 3,200 円)  
(Introduction to the PRACTICE of Statistics)

ブルース・フレイ (西沢直木訳). Statistics Hacks – 統計の基本と世界を測るテクニック、オライリー・ジャパン、2007 (ISBN978-4-87311-225-7, 2,400 円)

○黒住英司. 穴埋め式統計数理らくらくワークブック、講談社、2003 (ISBN4-06-153995-7, 1,900 円)

細分化され、問題数も多いが、ワークブックとしてはよくできている。

◎ Murray Spiegel. Schaum's Easy Outline of Statistics, Second Edition, McGraw-Hill, 2011 (ISBN 978-0-07-174581-9)

140 ページ、10 ドル程度の簡単な本である。授業で扱ったトピックスに関して、この本に書かれている内容が理解できていればじゅうぶん！難しい単語がでてくるわけではなく、式や表があるので英語も苦にならないはず。

## 読み物

☆ダレル・ハフ (高木 秀玄訳). 統計でウソをつく法、講談社ブルーバックス、1968 (ISBN 978-4061177208, 924 円)

◎カイザー・ファング (矢羽野 薫訳). ヤバい統計学、阪急コミュニケーションズ、2011 (ISBN 978-4484111025, 1,995 円) (Keiser Fung, Numbers Rule Your World: The Hidden Influence of Probability and Statistics on Everything You Do)

タイトルは訳者によるはやった本のパクリ。日常的な5つの話題をとりあげ、それらを統計的に考え直すことで自分たちの理解を見直しています。話題の選択といい、話の進め方といい、非常にわかりやすいのですが、統計がどう使われているかの部分がさらりとしか触れられていないのが残念です。しかし、統計的な考え方で物事を見直すことは非常に大事で、お勧めの1冊です。

◎ ジェフリー・S・ローゼンタール (柴田裕之訳). 運は数学にまかせなさい、早川書房、2007 (ISBN978-4-15-208842-0, 2,000 円) (STRUCK BY LIGHTNING: The Curious of Probabilities)

○バート・K. ホランド (林大訳). 確率統計で世界を読む、白揚社、2004 (ISBN 978-4826901185, 2,400 円) (Bart K. Holland, What are the Chances?: Voodoo Deaths, Office Gossip, and Other Adventures in Probability)

場面に応じた手法、意味の解釈に関する話で、いろいろな手法があることを知るにはよい本です。統計や確率が使われる場面について教養を深めたい人にはおすすめ。ただし、確率の話も少なくありません

○ジョエル・ベスト（林大訳）. 統計はこうしてウソをつく、白揚社、2002  
（ISBN4-8269-011-9, 2,600 円）（DEMNERD LIES AND STATISTICS: Untangling  
Numbers from the Media, Politicians, and Activists）

ジョエル・ベスト（林大訳）. 統計という名のウソ、白揚社、2007  
（ISBN978-4-8269-0139-0, 2,600 円）（MORE DAMNERD LIES AND STATISTICS: How  
Numbers Confuse Public Issues）

アイリーン・マグネロ、ボリン・ファン・ルーン（井口 耕二訳）. マンガ 統計学入門、  
講談社ブルーバックス、2010（ISBN 978-4062576819, 840 円）

イラストがいっぱい入った統計学の歴史の本です。手法の詳細はわかりませんが、他の  
本と合わせて読むことで、どんな必然性で手法ができあがってきたかがわかるでしょう。  
しかし、人名や固有名詞が多いので読むには骨が折れるでしょう。

統計手法 読み物、高校の復習など

◎ラリー・ゴニック、ウルコット・スミス（中村和幸訳）. マンガ確率・統計が驚異的によ  
くわかる、白揚社、1995（ISBN4-8269-0069-4, 1,900 円）（THE CARTOON GUIDE TO  
STATISTICS）

◎野崎昭弘、何森仁、伊藤潤一、小澤健一. 統計・確率の意味がわかる、ベレ出版、2001  
（ISBN4-939076-77-6, 1,400 円）

◎高橋寛. 統計のみかた（新編バイパス2）、三省堂、1999（ISBN4-385-40851-3, 1,200  
円）

○中西 達夫. 悩めるみんなの統計学入門 - 統計学で必ず押さえない6つのキーワード、  
技術評論社、2010（ISBN 978-4774144702, 1,554 円）

6つのキーワードは、分布、分散、相関、標本、カイ2乗検定、t検定です。扱う内容は  
授業と同じですが、別の視点からの説明で内容を深く理解するのに役立つと思います。「考  
え方の理解」に重点が置かれているので、マスターするためには演習が必要です。説明に  
女子高生が登場する必然性はありません。

神永 正博. ウソを見破る統計学：退屈させない統計入門、講談社ブルーバックス、2011  
（ISBN 978-4062577243、945 円）

対話ふうの書き方で、回りくどさを感じる。章ごとにまとめがあり、教科書と読み物の中間を狙っている。たぶん、これでウソが見破れるほど世の中は甘くありませんし、退屈かもしれません。ここでも女子高生かと思うことでしょう。

深川和久. ゼロからわかる確率・統計、ベレ出版、2007 (ISBN978-4-86064-153-5, 1,400 円)

郡山彬、和泉澤正隆. 統計・確率のしくみ、日本実業出版社、1997 (ISBN4-534-02662-5, 1,300 円)